

自民・維新・みんなの「改憲」連合の暴走ストップ!

憲法を守り、生かす 国づくりへ全力

参議院埼玉選挙区予定候補

伊藤 岳

日本共産党
県民運動委員長

伊藤岳のプロフィール

- 1960年川口市生まれ。草加市立栄中学校・県立越ヶ谷高校・文教大学卒業。民主青年同盟埼玉県委員長、党さいたま地区副委員長など歴任。2010年参院選に立候補。現在、党県常任委員・県民運動委員長。
- 家族は妻と1女1男、母の5人家族
- 趣味／スポーツ観戦特に箱根駅伝、映画鑑賞
- 好きな作家／井上ひさし ● さいたま市浦和区在住。

自民党と維新の会は、憲法改正のルールを定めた96条の改憲で一致しました。憲法96条の改定で改憲手続きを緩和し、「主権者である国民が国家権力をしぼる」という憲法の本質を根本からくつがえして、時の権力者が憲法を都合のいいように変えられるようにする—そして、憲法9条を変えて海外でアメリカとともに武力行使ができる国にしようというのがねらいです。自民、維新、みんなの党などの「改憲」連合の暴走にストップをかけましょう。

日本共産党

“いのちより重いものはない” —わたしの原点です

特攻隊の基地の街に住んでいた祖母の教えは「戦争だけは絶対ダメ!」でした。「いのちより重いものはない」—それが政治家としての原点です。

侵略戦争への痛苦の反省から生まれた憲法9条があったからこそ、日本は戦後67年間、戦死者を一人も出さず、戦争によって外国人のいのちもうばってきませんでした。これは日本が世界に誇るべきことではないでしょうか。これを守り生かしてこそ世界から信頼される国づくりができると私は確信しています。

私は、「憲法を守れ」という草の根の運動と結んで憲法を守り、生かす国づくりへ全力をあげます。

伊藤 岳

平和憲法は堅持すべき

自民元幹部からも懸念の声

「やはり平和憲法は堅持すべき」(古賀誠元幹事長)、「いまの日本のあり方が私には本当に恐ろしい」「戦争はやりません、憲法は変えません。その思いを新たにす今日であってほしい」(野中広務元官房長官)—「改憲」前のめりの安倍政権に対して、自民党元幹部の間からさえ暴走を懸念する声が相次いでいます。

原発さよなら
ツイッターデモ
連続実施中

[Twitterアカウント名]

@gaku_ito

新埼玉

2013年5月号外 発行 日本共産党埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1
日本共産党埼玉県委員会の見解を紹介します。

国政へのご意見・ご要望をお寄せください

TEL 048-658-5551 FAX 048-658-5656 <http://pub.ne.jp/itogaku/>

伊藤岳 検索